

令和9年度 事業重点化の基本方針

2016

2028

令和9年度の位置付け

- ✓ いいだ未来デザイン2028策定期間12年間の残り2年間
- ✓ 後期計画4年間の折り返し

重点事業の定義

令和9年度戦略計画に記載される事業のうち、

「このタイミングで加速すべきこと」

- ・計画の最終盤を見据え、現時点で未着手の課題や目標達成に不可欠な必須事項
- ・既に進行中の事業のうち、目標達成に向けて相乗効果の高いものや社会情勢の変化により優先度が上がった取組のスピードを上げる

検討のための重要視点の例

①人口減少という喫緊の課題への対応



社会減が県内ワースト1位、前回国調から△7,512人(△7.7%)という厳しい現状を受け、より効果的な施策を講じる。

②リニア中央新幹線開業への準備



近い将来に示される開業時期に対し、飯田市としてどう行動し、今から何を準備すべきかを具体化する。

③SDGsの推進



持続可能な開発目標の視点を取り入れ、多面的な価値を創出する事業を推進する。

全庁共通の基盤【データの利活用】

経験や勘だけに頼らず、客観的なデータに基づいた現状分析と効果検証を行うことが不可欠

戦略計画策定に向けた全体プロセス



7月 部長会議

事業構築の視点の共有

重点化会議

マネジメントリーダー
の下で課題の共有と
対応方針検討

重点調査シート

EBPM視点を徹底した
小戦略・事業案の策定

理事者協議

方向性のすり合わせと
予算編成方針への抽出

事業重点化のイメージ

達成

令和10年度末： あるべき状況の達成

・改善された方針に基づき、最終年度に掲げた目標を達成します。

方針反映

令和9年度： 対応方針への反映

・抽出した課題を解決するための方策を、令和9年度方針に組み込みます。

評価・課題抽出

令和7年度： 年度末評価

・初年度の進捗を確認し、内部評価及び外部評価を行います。※内部評価依頼済み

令和8年度： 中間評価と課題抽出

・中間評価を通じて、達成を拒む具体的な課題を浮き彫りにします。※重点評価シート

理事者協議(重点調査シートに記載)する範囲
令和9年度戦略計画の ・小戦略の項目案(タイトル)
・具体的取組案(1)、(2)...

基本目標 1

市民が将来にわたり地域に
誇りと愛着を持てるまちをつくる

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

小戦略	①	20地区の基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の自治活動の推進
(1)	20地区基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の取組を自治振興センターを中心に支援します。	
(2)	地域を取り巻く環境や時代の変化に対応していくため、各地区が行う自治活動組織の改革改善、事業の見直しなどの取組を支援するとともに、ゆるやかなつながりの仕組みを検討します。	
(3)	中山間地域が元気であり続けるための農村起業家の育成や地域おこし協力隊による活動の支援などの取組を進めます。	

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	地域自治活動支援事業	地域自治振興課	115,070	基本目標2小戦略①
(3)	中山間地域振興事業	結いターン 移住定住推進課	61,620	
(3)	遠山郷振興事業	結いターン 移住定住推進課	12,323	
		計	189,013	

小戦略	②	持続可能な地域づくりに向けた次代を担う人材を育む学習活動の支援
(1)	住民が地域の自然、歴史、文化などを知り、理解を深める学習や地域の課題意識や関心事に応える学習などによる、主体的、協働的、探究的で多様な学びや実践を支援します。	
(2)	キャリア教育推進協議会や、庁内横断的な連携会議を開催し、こどもや若者の生きる力を育むことや、未来の地域の担い手となる人づくりの大切さを共有して、地育力を活用したみらい創造教育に取り組みます。	
(3)	大学の研究者などが持つ専門的な知見を生かして市民が地域の資源や特徴を見つめ直して学ぶ機会を設け、地域が持つ価値や魅力の再発見、再認識につなげます。	

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	歴史	歴史研究所	22,199	
(1)				
(1)				基本目標2小戦略① 基本目標3小戦略③
(1)	図書館事業	中央図書館	1,857	
(2)	高校生等次世代育成事業	公民館	9,130	基本目標3小戦略①

小戦略の具体的な取組(1)、(2)・・・のうち、ギアチェンジする(拡充・新規)事業について、「重点調査シート」を作成し、理事者と協議します。